

# 平成24年度 総務委員会議事録

【日時】：平成25年3月24日 15時～16時20分

【場所】：鍋島公民館(和室)

【参加者】：牟田総務委員長、辻(2ブロック)  
古賀(事務局)

## 1 開会

牟田委員長あいさつ

## 2 審議

### (1) 本日までの登録状況

・平成24年度登録数( 団員;91名、指導者;112名、スカウト;290名)  
総数; 493名(総会資料参照)

・平成25年度 登録状況

日本連盟の承認を得た団;8団

仮申請まで完了の団 ;5団 未完了の団; 2団 (3/24現在)

各団の細やかな努力が大切であり、団によっては、小学校や幼稚園・保育園に日本連盟のリーフレット等を配り、スカウト募集に繋がっています。

また、スカウトの1日体験入隊や体験キャンプ等の開催により、ボーイスカウト活動を分かってもらうような取り組みも行っています。

### (2) ホームページリニューアル報告

- ・ 1月から新しくホームページを開設しました。
- ・ 各会議の報告、行事関係等も以前より見やすいようになっています。

リニューアルしたことで、広報活動にも繋がるようなホームページになって欲しいと思います。

### (3) 広報誌の発行について

- ・ どういう風にして下さいとはいえないが、しないより発行した方が良い。
- ・ 10年前にも広報委員の方が、月1回集まって編集等を行っていました。
- ・ 最近、スカウト佐賀が定期的に発行されていました。

これについては、スカウト活動の体験談など、自分の思い出となって残るし、スカウト達に「僕だったらこんな風に来るかも？」とチャンスを与える機会にもなる。

- ・ 広報活動については、組織拡充委員会の担当であるので、広報誌の発行は組織拡充委員会や理事会等で今後協議してもらいたい。

テーマ;『多くの子どもにスカウティングを、指導者に基本原則を!』

(4) 維持財団解散後の寄付金の確保について

- ・ 昨年9月ごろ、維持財団から解散に伴い、今までの賛助金を県連盟に寄付してもらった文章を発送してもらいましたが、その後の賛助金の入金为数名しかなかったため、今後の佐賀県連盟の活動について、ジャンボリーや九州野営大会などの大会派遣費や、各行事を行っていくにあたっては、財源の確保もしていかなければならない。
- ・ 賛助金の依頼は、理事長名で、今後も行っていく必要がある。
- ・ 財源の確保のためには、今後もスカウト数が減少していくようであれば、県連の維持会費も上げるなどの検討も必要となってくる。
- ・ 最低でも30万円(年間)の確保が必要。

### 3 閉 会

次回 5月 16日(木) 開催予定